

雨水タンクの設置費用を補助

市では雨水の河川等への流出を抑制する効果が期待できる雨水タンクの設置に補助制度を設けています。

貯めた雨水は日頃は庭木の水撒きに、地震等災害時には貴重な雑用水として利用できます。

◆内容

購入・設置に要した費用の2分の1を補助します。

※1基当たり補助限度額▶100ℓ以上200ℓ未満▶18000円 200ℓ以上▶25000円。

※1軒に2基まで補助します。

※購入・設置前の申請が必要です。

◆その他

雨水タンクその他、次の設備等も補助対象となります。詳細は問い合わせてください。

- 浸透マス
- 浸透管
- 浸透側溝
- 透水性舗装
- 既存浄化槽転用雨水貯留槽

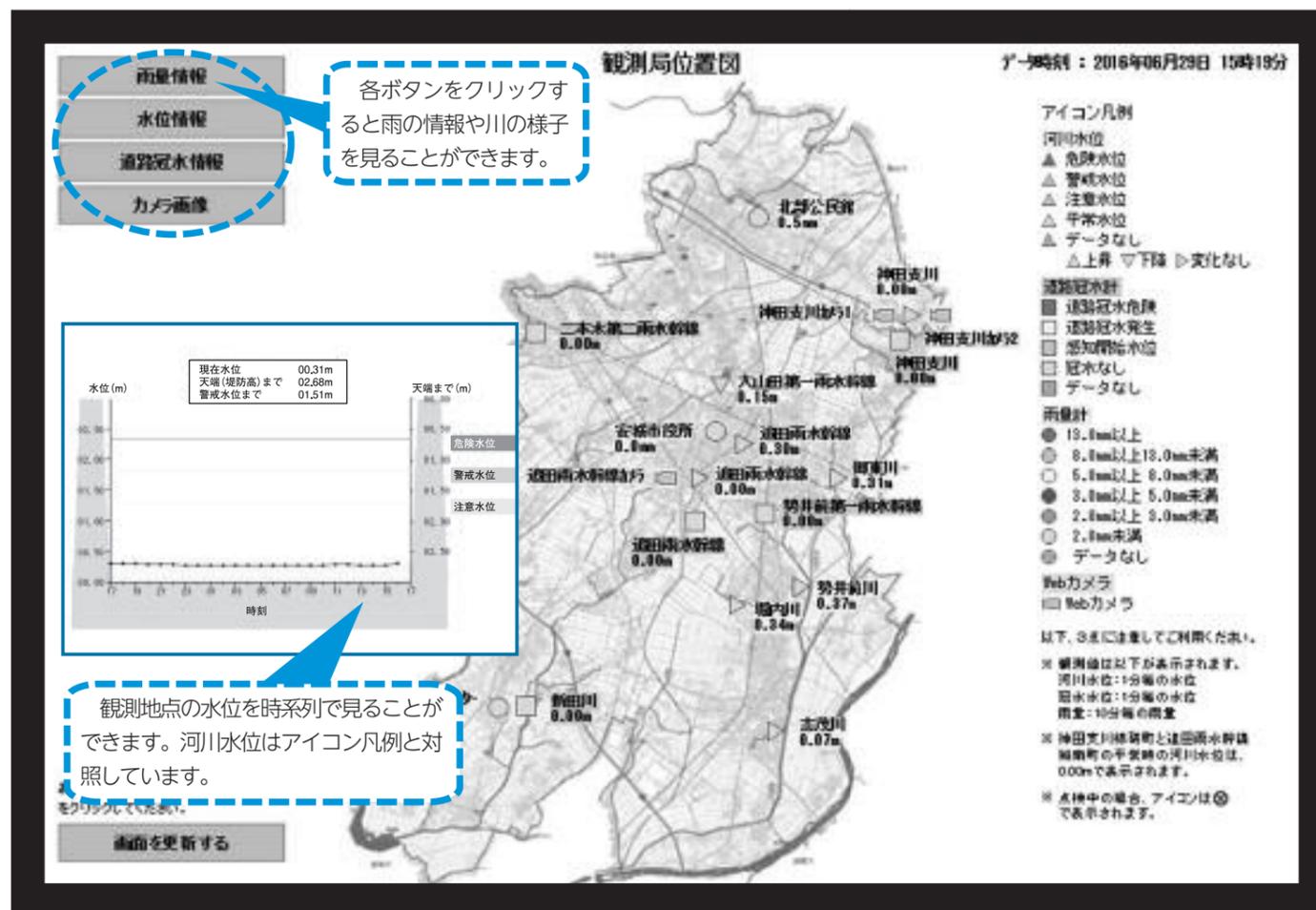
※詳細は市公式ウェブサイト又は土木課へ問い合わせてください。ただし、既存浄化槽転用雨水貯留槽は下水道管理課(☎71)2258へ問い合わせ下さい。



避難はかえって危険!?
大雨で避難する際は周囲の状況把握が非常に重要です。必ずしも避難所へ避難することが良いとは限りません。既に周囲で浸水が始まっているときは、むしろ危険が伴うため、自宅2階への避難が安全といえる場合もあります。大雨の際の情報収集に河川水位観測システムを活用してください。

河川水位観測システムとは
市内に設置された観測局の雨量、河川の水位、道路の冠水状況等を見ることが出来ます。大雨の際は、これらの情報から自身が置かれている状況を把握し、避難に役立てることが出来ます。

情報収集の手段として
市では、大雨の際に情報を皆さんに発信するべく、平成28年4月から「河川水位観測システム」の運用を開始しました。



▲河川水位観測システムの画面



- ◆カメラ画像はケーブルテレビビネキヤッチネットワークでも見ることが出来ます
- カメラ設置箇所
 - 柿崎町(神田支川)
 - 城南町(追田雨水幹線)
- 視聴方法 KATCH情報チャンネル(CS108チャンネル)で見ることが出来ます

河川水位観測システムを見るには
市公式ウェブサイト内「災害情報・緊急情報の入手方法」から見る事が出来ます。右QRコードからもアクセス可能です。



河川水位観測システムで身を守る
今年も6カ月が過ぎましたが、現在までの台風の発生件数は例年に比べると少ないといえます。しかし、過去には一年の後半に台風が集中していた例もあるため、油断はできません。災害から身を守るためには、細やかな情報収集を行い、適切な避難行動をとる必要があります。

特集

問▶土木課(☎71)2239



▲浸水時

◀通常時

